



XIB キャピタルパートナーズ・フレッシュフィールズ共催ウェビナー

ニューノーマル:

## ポスト・コロナの不確実な状況下でクロスボーダーM&Aを成功・成立させるための検討事項と留意点

平素よりお世話になっております。

新型コロナウイルスがビジネスの世界を根底から変えてしまったことは、今や否定できません。企業は、様々な問題・リスクに対処しながら、雇用を守り、必要資金を調達するためにあらゆる方策を検討すると同時に、新たなビジネスチャンスも模索しなければなりません。新型コロナウイルスの影響については地域・業種で差も生じており、企業は事業環境の変化に柔軟に対応することが求められます。このことは、企業が過去数ヵ月前の、パンデミック以前に慣れ親しんでいたものとは全く異なる新しい事業環境、すなわち「ニューノーマル」に移行しつつあることを示唆しています。

本ウェビナーでは、米国や欧州を含む世界各地の最新の動向とクロスボーダーM&A等の取引において今後重要となる事項、さらに日本企業が取引において不確実性を軽減するために具体的に検討すべき事項について解説します。

主なトピックは以下のとおりです。

- ポスト・コロナ、ニューノーマル下における主要市場の特性は？
- これまでの買収及び売却施策の代替策はあるか？
- バリュエーション及び買収価格のメカニズムに関する検討事項
- デューデリジエンス及び表明保証において新たな検討事項
- 規制および承認プロセスへの影響
- 新型コロナウイルスのクロスボーダーM&Aのタイムラインに及ぼす影響
- 合理的なクロージング義務に関する交渉
- 前提条件(CP)やMAC条項に関する交渉
- 対処すべき規制要因(例:「ガンジャンピング」)等

### 【スピーカー】

**中尾 雄史**:東京オフィス・マネージングパートナー及びフレッシュフィールズの日本プラクティス代表パートナーを務める。クロスボーダーM&A、プライベート・エクイティ、ジョイント・ベンチャー、一般企業法務を専門とする

**ヨハン・エルロット**:東京オフィス・パートナー。クロスボーダーの非公開会社のM&A取引を中心に、経営不振企業および不良資産の買収および売却、リストラクチャリング、一般企業法務全般に関するアドバイスを提供

**山田 香織**:クロスボーダーM&Aの当局審査、カルテル事件、私的独占事件の捜査への対応等、独占禁止法に関する幅広い分野で経験を有する。フレッシュフィールズのアジア独占禁止法グループ代表

**マーカス・ウォルター**:東京オフィスのシニア・アソシエイト。クロスボーダーM&Aやジョイント・ベンチャー、ベンチャーキャピタル取引を主に取り扱う

### 言語:

英語及び日本語(プレゼン資料は英語と日本語で用意いたします。)

### 開催日時:

2020年6月12日(金) 正午~13:30

### 会場:

マイクロソフトのTeamsを使用したバーチャルセミナー(ウェビナー)形式で行います。

### お申込み:

部署名・役職・お名前・ウェビナー情報をお送りするメールアドレスをXIBキャピタルパートナーズ担当者もしくは取締役パートナー・會田靖夏(shizuka.aida@xibcapital.com)宛にご連絡ください。

皆様のご参加をお待ちしております。